

# しおんだより VOL.18



## 患者さんに寄り添う気持ちを胸に…！ 新しい看護部長、病棟師長を迎え

さらにパワーアップしました！

「看護」とは何でしょうか。インターネットで調べると色々な定義があるのですが、以前、とある講演会で日本看護協会の会長が「最後の一瞬まで、患者さんのそばに寄りそうこと」とお話しされたのが印象的でした。病院は、職種を問わず患者さんを思う温かい気持ちが大切ですが、患者さんとの接点が多い看護の役割は大きいです。

看護師、准看護師、ケアワーカー（看護助手）が一丸となって、文字通り、昼夜を問わず患者さんの治療・療養生活をサポートしています。当院には、外来・救急・手術の他に、主には急性期の患者さんを受け入れる「一般急性期病棟」（2階）、長期に療養される方を支援する「医療療養病棟」（3階）、在宅で療養できるように治療を行う「地域包括ケア病棟」（4階）という3つの病棟があります。

それぞれの部署で、適切な看護を行えるよう、4月から新しく赴任した堀三枝子看護部長を筆頭に、力を合わせて行こうと決意を新たにしています。「看護職員一人一人がやりがいを持って自己成長を感じながらいきいきと働ける環境を作ることによって患者さんにより良い看護を提供できると考えて取り組んでいきたい」と決意を語って下さいました。

## 各病棟と診療部門の意気込みをご紹介します

**【一般急性期病棟】**：柳井副看護師長：主に急性期の患者さんを担当します。

入院患者様が安心して医療・看護を受けられるよう、十分な説明と患者様との対話を心がけています。

**【医療療養病棟】**：大村看護師長：主に長期療養を目的とした方を担当します。

いかに患者様により良い療養の場を提供できるか？を病棟スタッフ全員で考えながら、思いを一つにして、協働することを大切にしています。

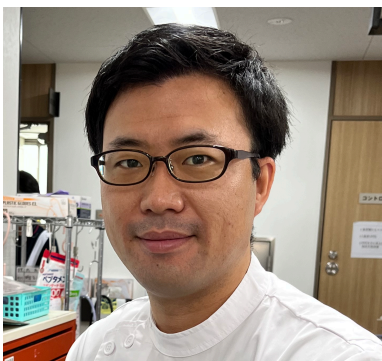
**【地域包括ケア病棟】**：毛利看護師長：主に退院に向けて療養される方を担当します。

多職種で連携し、安全・安心にご自宅に戻っていただけるように、入院時から退院に向けた相談や調整を行っています。チームワークを大切に頑張っています。

**【外来・救急・手術棟】**：向田副看護部長：外来・救急・手術で来院の方を担当します。

患者さまから親しまれやすい雰囲気作りを心掛けて業務にあたっています

## 4月より、白井医師に代わり、谷医師が赴任しました



昨年1年間、外科を中心に診療を担っていただいた白井医師に代わり、4月から白井先生と同じ大阪市立大学医学部の肝胆膵外科から谷直樹（たに なおき）先生が赴任しました。

大学では、研究活動も続けながら、当院では、主に消化器疾患を中心に、ご高齢の方の感染症やリハビリに取り組まれる患者さんの診療にも当たっていただきます。

ご覧の通り、お若くはつらつとした先生で、おじさんが多い（！？）医局のメンバーにも、新しい刺激を与えてくれるものと期待しています。

当面は、外来診療は担当されませんが、当院で色々な現場でご活躍いただくことになるかと存じます。どうぞ、よろしくお願ひします。（文責：狭間研至）

優しく患者さんや看護師さんに接する姿が印象的な先生です。自宅から自転車通勤されるとか！？若いですね～！

しおんだより 第18号 発行日：令和4年4月15日

発行人：狭間研至 発行元：医療法人嘉健会 思温病院

☎557-0034 大阪市西成区松1-1-31 電話06-6657-3711 HP: [www.shion-hp.or.jp](http://www.shion-hp.or.jp)